

つきたい力

1. 探究的な学習の中で情報活用能力を発揮する力
2. 他者と協働し、考えを広げたり、深めたりする力
3. 思考過程を表現する力

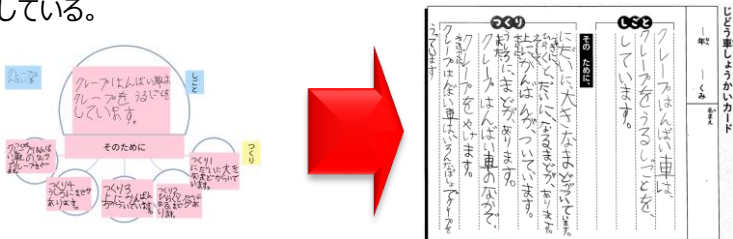
取組みの概要・ポイント

- 情報活用能力を「育成する取組み」と「発揮する取組み」の2つの側面から研究を行うことで、思考過程を整理し、自分と他者との考えを視覚化し、学びを深められる子どもの育成をめざした。
- 育成する取組みで学んだことを活かし、探究的に学びをすすめる子どもの育成をめざした。

取組み1：育成する取組み

【授業での育成】（1年：国語科「じどう車くらべ」）

調べた自動車の「仕事」と「つくり」をクラゲチャートに整理し、それをもとに、作文指導につなげた。他学年でも系統的に、思考ツールを作文指導に活かしている。



【授業以外での育成】（全校児童でのチャレンジ問題）

1～6年生で、情報共有ツールやシンキングツールを楽しく使える問題に挑戦し、ツールの使い方や情報モラルを身につける。



授業や授業以外で育成し、
 情報活用能力チェックシート
 でチェックする。

【情報活用能力チェックシート】

活用ツール（活用ツール）	活用ツール
1. 情報収集する力	生活や学習、社会のなかで情報収集する力。自分や学習課題に「必要な情報」を収集する力。
2. 情報整理する力	収集した情報を整理し、必要な情報を抽出する力。必要に応じて情報を加工する力。
3. 情報発信する力	整理した情報を活用し、必要な情報を発信する力。必要に応じて情報を加工する力。
4. 伝える力	整理した情報を活用し、必要な情報を伝える力。必要に応じて情報を加工する力。
5. 判断する力	整理した情報を活用し、必要な情報を判断する力。必要に応じて情報を加工する力。
6. 考える力	整理した情報を活用し、必要な情報を考える力。必要に応じて情報を加工する力。
7. 伝える力	整理した情報を活用し、必要な情報を伝える力。必要に応じて情報を加工する力。
8. 伝える力	整理した情報を活用し、必要な情報を伝える力。必要に応じて情報を加工する力。
9. 伝える力	整理した情報を活用し、必要な情報を伝える力。必要に応じて情報を加工する力。

○チェックシート活用の目的

1. 情報活用能力を視覚化することで、児童自身が成長を確認できるようにするため。
2. 児童も、教員も、情報活用能力を意識し、振り返りを行えるようにするため。

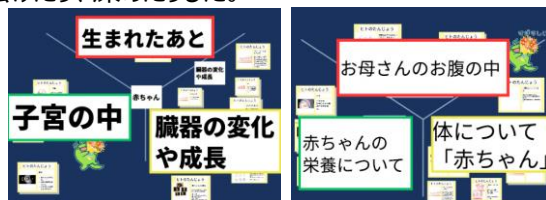
取組みを通しての子どもの変容

児童の情報収集や整理・分析の手段が大幅に増加した。その結果、学習の中で、情報活用能力を活かすことができ、まとめ・表現の幅が増え、他者と協働し考えを広げたり深めたりすることができるようになってきた。また、「探究学習のプロセス」を意識した授業を行うことで、各教科の振り返りで、学んだことや新しい課題を書くことができる児童が増えてきている。そして、情報活用能力を問う児童アンケートの結果では、年度のはじめに立てた目標値をすべての項目で達成することができた。特に「1人1台端末などの情報手段を使って、情報を集めることができる。」の項目においては、56%から80%と24ポイント増加し、大きな成果が見られた。

取組み2：発揮する取組み

【授業での発揮】（5年：理科「ヒトのたんじょう」）

Yチャートの視点を子どもたちが決めることで、思考過程を表現し、その後、話し合いで自分の考えを広げたり、深めたりした。



【授業以外での発揮】

アンケート調査と集計（放送委員会の活動）

全校児童が給食時間にどんな曲を聞きたいのかを調べるためのアンケート調査を行い集計結果から曲を決定する活動を行った。



【情報活用能力を活かした探究的な学び】

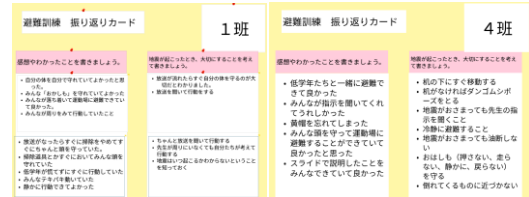
3年生 総合的な学習の時間「農業」都道府県の給食調べから、自分たちの給食がどのように作られているかという課題を設定したことで、給食センターを見学した後、児童が主体的に集めた情報を思考ツール等で整理分析を行った。



育成する取組みで、学んだことを
 発揮することで上記の「つきたい力」
 を育む。

行事の振り返り活動（地震避難訓練）

地震の避難訓練後、異学年の班に分かれて感想や避難の際に大切にすることを振り返る活動を行った。



6年生 社会科「日本の歴史」

1学期に学んだ日本の歴史の人物を調べ、スライドにまとめて発表する活動を行った。その発表から、疑問を感じた事を共有しさらに調べ学習を進めた。



楽しく情活サイト

